

# ① 自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目のⅡやⅢ等）から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- **自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。** 家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

## 地域密着型サービスの自己評価項目構成

|                                | 項目数 |
|--------------------------------|-----|
| I. 理念に基づく運営                    | 22  |
| 1. 理念の共有                       | 3   |
| 2. 地域との支えあい                    | 3   |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用          | 5   |
| 4. 理念を実践するための体制                | 7   |
| 5. 人材の育成と支援                    | 4   |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援          | 10  |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応      | 4   |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援      | 6   |
| III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント  | 17  |
| 1. 一人ひとりの把握                    | 3   |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | 3   |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援              | 1   |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働    | 10  |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援      | 38  |
| 1. その人らしい暮らしの支援                | 30  |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり        | 8   |
| V. サービスの成果に関する項目               | 13  |
| 合計                             | 100 |

## ○記入方法

### [取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

### [取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

### [取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

### [特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

## ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## ○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

|                 |                      |
|-----------------|----------------------|
| 事業所名            | 六郷仙南福祉会    グループホーム美郷 |
| (ユニット名)         |                      |
| 所在地<br>(県・市町村名) | 秋田県仙北郡美郷町六郷字本道町57-6  |
| 記入者名<br>(管理者)   | 辻嶋良子                 |
| 記入日             | 平成 21 年 7 月 9 日      |

## 自己評価票

| 項 目                | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                           |
|--------------------|--|------------------------|---|
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |  |                        |   |
| <b>1. 理念と共有</b>    |  |                        |   |
| 1                  | <p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>      |                        | <p>安心で尊厳ある生活とひとり、ひとりへの自立支援を心がけている。</p>                    |
| 2                  | <p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>運営者と管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>                     |                        | <p>職員事務室やリビングに掲示し、職員間で確認・共有している。</p>                      |
| 3                  | <p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p> |                        | <p>月に一度の家族への便りや運営推進会議の結果を地域の掲示板に掲示する等して理解を得るように努めている。</p> |
| <b>2. 地域との支えあい</b> |  |                        |   |
| 4                  | <p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p> |                        | <p>朝・夕のあいさつや子供会の行事には駐車場を提供したりして交流に努めている。</p>              |
| 5                  | <p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>   |                        | <p>地域のお祭りや子供会行事などに参加して交流を図っている。</p>                       |

| 項 目                          |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)         |
|------------------------------|---|-----------------------------------|------------------------|---|
| 6                            | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる                | 運営推進会議等を通し、民生委員や老人クラブとも意見交換をしている。 |                        |   |
| <b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b> |   |                                   |                        |   |
| 7                            | ○評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる                         | 年に2回、委員会を設けて自己評価を行い、意識を統一している。    |                        |   |
| 8                            | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている          | 2ヶ月に1回、会議を開催して職員間でも結果を報告し合っている。   |                        |   |
| 9                            | ○市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる                          | 毎月、利用状況を報告している。                   |                        |   |
| 10                           | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | 研修の機会がなく、現在は必要な人もいない。             | ○                      | 研修会に参加したり、法人のケアマネジャーから情報を得たりして学習していきたい。 |
| 11                           | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている          | 身体拘束や事故防止の委員会を設けて学習し、防止に努めている。    |                        |   |

| 項 目                    | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目)                           | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------|---|--|----------------------------------|
| <b>4. 理念を実践するための体制</b> |   |  |                                  |
| 12                     | ○契約に関する説明と納得<br><br>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている            | 説明書を通して説明し、理解を得るように努めている。                        |                                  |
| 13                     | ○運営に関する利用者意見の反映<br><br>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている           | 契約時に苦情受付の流れを説明し、玄関にも拡大コピーして掲示している。               |                                  |
| 14                     | ○家族等への報告<br><br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている         | 毎月、小遣い帳のコピーや職員からのお便りで状況を報告している。                  |                                  |
| 15                     | ○運営に関する家族等意見の反映<br><br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている           | 契約時に苦情受付の流れを説明し、玄関にも拡大コピーして掲示している。               |                                  |
| 16                     | ○運営に関する職員意見の反映<br><br>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                       | 毎月、職員全体会議やスタッフ会議を開催して意見交換できる機会がある。               |                                  |
| 17                     | ○柔軟な対応に向けた勤務調整<br><br>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている | 休みの希望を受けた上で勤務表を作成し、急な希望や業務の都合がある時は勤務変更をして対応している。 |                                  |

| 項 目                |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)           | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------|---|---|------------------------|---------------------------------|
| 18                 | ○職員の異動等による影響への配慮<br><br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている    | 文書等で通知している。                               |                        |                                 |
| <b>5. 人材の育成と支援</b> |   |   |                        |                                 |
| 19                 | ○職員を育てる取り組み<br><br>運営者は、運営者自身や管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている           | 毎月の職員全体会議や外部からの研修に参加して自己研鑽に努めている。         |                        |                                 |
| 20                 | ○同業者との交流を通じた向上<br><br>運営者は、運営者自身や管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 事業所同士の情報交換や相互訪問を行って、勉強会も実施している。           |                        |                                 |
| 21                 | ○職員のストレス軽減に向けた取り組み<br><br>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる  | スタッフ会議で意見交換をしたり、個別でも普段から声かけをして会話する様にしている。 |                        |                                 |
| 22                 | ○向上心を持って働き続けるための取り組み<br><br>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている                              | スタッフ会議や自己評価委員会などを開催し、意見や相談をする機会を設けている。    |                        |                                 |

| 項 目                              | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目)                                 | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|--|--|---------------------------------|
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>       |  |  |                                 |
| <b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b> |  |  |                                 |
| 23                               | ○初期に築く本人との信頼関係<br><br>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている                      | 声かけや言動観察を充分にして会話しやすい雰囲気や状況をつくり、不安感を取り除く様<br>にしている。     |                                 |
| 24                               | ○初期に築く家族との信頼関係<br><br>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている                           | 毎月の職員からの手紙を通して利用者の様子を報告し、面会時にも進んで声かけをして会話できる場面をつくっている。 |                                 |
| 25                               | ○初期対応の見極めと支援<br><br>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている                                   | 話しや訴えを充分に聴き、相談内容を理解して話合う様にしている。                        |                                 |
| 26                               | ○馴染みながらのサービス利用<br><br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう本人又は家族等と相談しながら工夫している | 概ねのケアプランを計画し、状況を見ながら検討・見直しをする様にしている。                   |                                 |
| <b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b> |  |  |                                 |
| 27                               | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br><br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている                           | 日常生活を一緒に過ごしながら、充分に会話をして楽しみを持てる様にしている。                  |                                 |

| 項 目 |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                             | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-----|--|---|------------------------|---------------------------------|
| 28  | ○本人を共に支えあう家族との関係<br><br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている         | 毎月の担当職員からの手紙で状況を報告したり、必要時は電話で連絡をしている。                       |                        |                                 |
| 29  | ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援<br><br>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している             | 毎月の便りや施設での行事予定も連絡して、参加を促している。                               |                        |                                 |
| 30  | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br><br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている               | 自宅で使っていたタンスや小物等を持参したり、面会の受け入れも自由に行っている。                     |                        |                                 |
| 31  | ○利用者同士の関係の支援<br><br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている              | 毎日、食事やお茶の時間には会話できるような場を設けて、職員が間に入って利用者同士で関わりが持てる雰囲気をつくっている。 |                        |                                 |
| 32  | ○関係を断ち切らない取り組み<br><br>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | 訪問や電話連絡で相談を受けたり、施設外で会った時はあいさつや会話をしている。                      |                        |                                 |

| 項 目                                   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目)  | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|---|---|---------------------------------|
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>    |   |   |                                 |
| <b>1. 一人ひとりの把握</b>                    |   |   |                                 |
| 33                                    | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している  | 入居時の家族の意向や本人の様子を観察しながら、会話を充分にして希望を聴いている。                      |                                 |
| 34                                    | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                               | 本人や家族から生活歴や趣味等の情報を得て記録にし、職員が情報を共有している。                        |                                 |
| 35                                    | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている  | 入居前の事前訪問で本人や家族から日課や受診状況を確認し、内服薬の内容も確認して記録に残している。              |                                 |
| <b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b> |   |   |                                 |
| 36                                    | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している     | 定期的にケアマネ、担当職員、本人で処遇委員会を開催して意見交換をして、介護計画に反映している。               |                                 |
| 37                                    | ○現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 定期的にケアマネ、担当職員でモニタリングをして見直し、処遇委員会でも意見交換している。家族にも電話や郵送で確認をしている。 |                                 |



| 項 目                                |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                    | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|--|--|------------------------|---------------------------------|
| 38                                 | ○個別の記録と実践への反映<br><br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている    | ケース記録や日誌への記録と必要時には連絡ノートに記載して情報を共有し、ケアを統一するようにしている。 |                        |                                 |
| <b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>           |  |  |                        |                                 |
| 39                                 | ○事業所の多機能性を活かした支援<br><br>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている              | 同法人の他事業所の行事に参加したり、違う職種の職員から情報を得たりして協力を受けている。       |                        |                                 |
| <b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b> |  |  |                        |                                 |
| 40                                 | ○地域資源との協働<br><br>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関、医療機関等と協力しながら支援している        | 主治医のほとんどが町内の医院の為に馴染みになっている。近所には商店もあり、散歩等で交流がある。    |                        |                                 |
| 41                                 | ○他のサービスの活用支援<br><br>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている  | 連絡協議会からFAXで定期的に情報を受けたり、必要時にはケアマネジャーからも協力を得ている。     |                        |                                 |
| 42                                 | ○地域包括支援センターとの協働<br><br>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | 毎月、利用状況を報告しており、必要時には相談する体制がある。                     |                        |                                 |

| 項 目 | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)   |
|-----|---|------------------------|--|
| 43  | <p>○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援<br/>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>            |                        |  |
| 44  | <p>○認知症の専門医等の受診支援<br/>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>  |                        |  |
| 45  | <p>○看護職との協働<br/>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>   |                        |  |
| 46  | <p>○早期退院に向けた医療機関との協働<br/>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>                      |                        |  |
| 47  | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有<br/>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>                                   |                        |  |
| 48  | <p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援<br/>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p> |                        | <p>利用者の状態は主治医に密に報告し、家族にも随時連絡して状況は共有していく様にする。主治医を中心に方向性を確認しながら連絡体制を整えている。</p> |

| 項 目                                 |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                            | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------------|--|--|------------------------|---------------------------------|
| 49                                  | ○住み替え時の協働によるダメージの防止<br><br>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、本人及び家族に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | 本人や家族と話し合いを充分にし、関係職員とも連絡調整を行って不安や不満を取り除いていく様にする。           |                        |                                 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>    |  |  |                        |                                 |
| <b>1. その人らしい暮らしの支援</b>              |  |  |                        |                                 |
| <b>(1)一人ひとりの尊重</b>                  |  |  |                        |                                 |
| 50                                  | ○プライバシーの確保の徹底<br><br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない                                       | 生活暦や性格を理解した上で声かけをし、個人の記録等は鍵のかかる書庫に保管している。                  |                        |                                 |
| 51                                  | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br><br>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を「尊厳の保持」に配慮して行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている       | ゆっくりと繰り返して声かけを行い、本人の意向に合わせて理解を得るように支援している。                 |                        |                                 |
| 52                                  | ○日々のその人らしい暮らし<br><br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している                        | 本人のペースを優先にして、職員の業務はそれに合わせるようにしている。                         |                        |                                 |
| <b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b> |  |  |                        |                                 |
| 53                                  | ○身だしなみやおしゃれの支援<br><br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている                                    | 馴染みの理容院や近所の美容院に本人の希望により連絡して外出援助をしている。必要時は訪問で理容のサービスも受けている。 |                        |                                 |

| 項 目                                  |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|---|--|------------------------|---------------------------------|
| 54                                   | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている          | 食材の下ごしらえや味見、盛り付け等を行い、後片付けは一人一人の役割りが分担されて習慣づいている。               |                        |                                 |
| 55                                   | ○本人の嗜好の支援<br>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している                 | お酒やたばこをのむ人もおり、おやつも内容を聞きながら提供している。                              |                        |                                 |
| 56                                   | ○気持ちよい排泄の支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう「尊厳の保持」に配慮して支援している | 排泄チェック表を準備して、時間の間隔をみながらトイレ誘導したり、見守り介助をして失敗を少なくする様にしている。        |                        |                                 |
| 57                                   | ○入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて、入浴を楽しめるように支援している    | 毎日、体調チェックをして本人の希望に合わせて入浴をすすめ、時にはなじみの利用者同士と一緒に入浴を楽しんでいる。        |                        |                                 |
| 58                                   | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している                          | 環境を整えて、ゆっくりと休んでもらっている。時には馴染みの利用者同士と一緒に休んだり、リビングの畳のスペースも利用している。 |                        |                                 |
| <b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b> |   |  |                        |                                 |
| 59                                   | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている       | おやつに集まった時にゲームをしたり、買い物と一緒に外出したり、庭の畑作りなども行っている。                  |                        |                                 |

| 項 目                   |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                        | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|--|--|------------------------|---------------------------------|
| 60                    | <p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>         | 本人や家族の希望でお金を持参している人がおり支援している。                          |                        |                                 |
| 61                    | <p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>                           | 週3回の買出し時には一緒に出かけたり、希望に応じて散歩も援助している。                    |                        |                                 |
| 62                    | <p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>        | 車や車椅子を利用して外出したり、家族にも行事の予定を連絡して機会を提供している。               |                        |                                 |
| 63                    | <p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>                                  | 毎月、担当職員からの手紙を出しており、毎週電話連絡している利用者もいる。又、携帯電話を持参している人もいる。 |                        |                                 |
| 64                    | <p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>                   | 面会は自由で玄関ホールや居室でも過ごしている。                                |                        |                                 |
| <b>(4)安心と安全を支える支援</b> |  |  |                        |                                 |
| 65                    | <p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p> | 身体拘束ゼロ推進会議を設けて学習し、防止に努めている。                            |                        |                                 |


| 項 目 |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                     | ○印<br>(取り組んでいき<br>たい項目) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-----|--|---|-------------------------|----------------------------------|
| 66  | ○鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに努めている       | 鍵はかけずに天候の良い日は玄関や居室の窓は開放している。                        |                         |                                  |
| 67  | ○利用者の安全確認<br>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している              | 常に様子を観察し、必要時は声かけをして安全に努めている。                        |                         |                                  |
| 68  | ○注意の必要な物品の保管・管理<br>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている        | 本人の意向を聴きながら居室の整理を援助したり、移動がスムーズに出来るように環境整備に注意している。   |                         |                                  |
| 69  | ○事故防止のための取り組み<br>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる     | 移動や食事の際には充分に目配りをして注意を促して事故防止に努めている。避難訓練も年に2回実施している。 |                         |                                  |
| 70  | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行っている             | 急変時や事故発生時の連絡マニュアルはできているが、定期的な実践訓練は行っていない。           | ○                       | 急変時の応急手当について定期的実践していきたい。         |
| 71  | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 年に2回の火災避難訓練を実施し、近隣や消防団の参加でも行っている。                   |                         |                                  |

| 項 目                              |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                          | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|---|--|------------------------|---------------------------------|
| 72                               | ○リスク対応に関する家族等との話し合い<br><br>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている      | 面会時に状態を細かに説明したり、必要時には手紙や電話でも説明している。                      |                        |                                 |
| <b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b> |   |  |                        |                                 |
| 73                               | ○体調変化の早期発見と対応<br><br>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている                | 毎朝、全員の健康チェックをして変化の有無を観察している。変化時には早めの受診をし、職員同士で連絡を密にしている。 |                        |                                 |
| 74                               | ○服薬支援<br><br>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | それぞれの処方内容をファイルに綴って保管しており、変更時にはノートで確実に報告する様にしている。         |                        |                                 |
| 75                               | ○便秘の予防と対応<br><br>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる              | 排泄の記録をし、便秘時は運動や乳製品の補給等の食事工夫している。又、主治医に相談して下剤の使用も検討している。  |                        |                                 |
| 76                               | ○口腔内の清潔保持<br><br>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている                        | 毎食後に義歯洗浄やうがいを促して習慣としている。週2回は洗浄剤も使用して衛生に努めている。            |                        |                                 |
| 77                               | ○栄養摂取や水分確保の支援<br><br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている     | 毎食の摂取量や水分量を確認して記載している。必要時は捕食やメニューの変更も検討している。             |                        |                                 |

| 項 目                            |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                            | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------|--|--|------------------------|---------------------------------|
| 78                             | ○感染症予防<br><br>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）  | 予防や対応のマニュアルを作成し、予防委員会を設けて学習・検討している。                        |                        |                                 |
| 79                             | ○食材の管理<br><br>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている   | 週3回の食材買出しで使いきる様に心がけ、調理器具も時々ハイターを使用して衛生に努めている。              |                        |                                 |
| <b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b> |  |  |                        |                                 |
| <b>(1)居心地のよい環境づくり</b>          |  |  |                        |                                 |
| 80                             | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫<br><br>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている                                 | 玄関の階段には手すりがあり、リビングの道路・前庭面は大きなガラス窓になっており、出入りや会話等もしやすい。      |                        |                                 |
| 81                             | ○居心地のよい共用空間づくり<br><br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や臭いや光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 静かな環境にあり、それぞれの居室には名前と別々に造花を付けて混乱のない様にしている。                 |                        |                                 |
| 82                             | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br><br>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている                                 | 食堂（リビング）の他に玄関ホールもあり。庭や樹木を見ながら寛げる。リビングには畳やソファもあり、自由に使用している。 |                        |                                 |



| 項 目                           |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                          | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|---|--|------------------------|----------------------------------|
| 83                            | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br><br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み<br>のものを活かして、本人が居心地よく過<br>ごせるような工夫をしている | 自宅で使っていたタンスや小物等を持参したり、家族と本人の希望で設置場所を検討し、好きな植物も置いている。     |                        |                                  |
| 84                            | ○換気・空調の配慮<br><br>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている                | 窓の開閉に注意し、必要時は消臭剤も使用している。温度計や利用者に確認しながら、冷暖房の調節はこまめに行っている。 |                        |                                  |
| <b>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b> |   |  |                        |                                  |
| 85                            | ○身体機能を活かした安全な環境づくり<br><br>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している                         | 居室から食堂までの廊下には手すりがあり、歩行練習ができ、食堂には畳みのスペースもあり自由に横になれる。      |                        |                                  |
| 86                            | ○わかる力を活かした環境づくり<br><br>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している                                   | 好きな趣味活動ができる様に塗り絵やボール・お手玉等と多様に準備している。又、必ず職員も付き添う様にしている。   |                        |                                  |
| 87                            | ○建物の外周りや空間の活用<br><br>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている   | リビングから前庭には木製の踏み台を置いて出入りし易くし、プランターの花やベンチを置いて楽しめるようにしている。  |                        |                                  |

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

| V. サービスの成果に関する項目 |  |   |
|------------------|--|---|
| 項 目              |  | 取 り 組 み の 成 果<br>(該当する箇所を○印で囲むこと)                           |
| 88               | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる                      | ○ ①ほぼ全ての利用者の<br>②利用者の2/3くらいの<br>③利用者の1/3くらいの<br>④ほとんど掴んでいない |
| 89               | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある                         | ○ ①毎日ある<br>②数日に1回程度ある<br>③たまにある<br>④ほとんどない                  |
| 90               | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている                            | ○ ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の2/3くらいが<br>③利用者の1/3くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 91               | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている                 | ○ ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の2/3くらいが<br>③利用者の1/3くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 92               | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている                           | ○ ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の2/3くらいが<br>③利用者の1/3くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 93               | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている                    | ○ ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の2/3くらいが<br>③利用者の1/3くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 94               | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている            | ○ ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の2/3くらいが<br>③利用者の1/3くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 95               | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ○ ①ほぼ全ての家族と<br>②家族の2/3くらいと<br>③家族の1/3くらいと<br>④ほとんどできていない    |
| 96               | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている                 | ○ ①ほぼ毎日のように<br>②数日に1回程度<br>③たまに<br>④ほとんどない                  |
|                  | 項 目  | 取 り 組 み の 成 果<br>(該当する箇所を○印で囲むこと)                           |

|     |   |   |
|-----|---|---|
| 97  | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | ○ ①大いに増えている<br>②少しずつ増えている<br>③あまり増えていない<br>④全くいない           |
| 98  | 職員は、生き活きと働けている  | ○ ①ほぼ全ての職員が<br>②職員の2/3くらいが<br>③職員の1/3くらいが<br>④ほとんどいない       |
| 99  | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                           | ○ ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の2/3くらいが<br>③利用者の1/3くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                       | ○ ①ほぼ全ての家族等が<br>②家族等の2/3くらいが<br>③家族等の1/3くらいが<br>④ほとんどできていない |

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

施設が街の中心部の住宅街にあり、近くには湧水群もあるために 地域との交流や散歩・買い物などの外出も容易にできている。職員は日々、利用者と一緒に日常を過ごしながら元気で明るい声かけで笑いが絶えない介護に努めている。